

命を守るために

避難訓練がありました。今回は、いつもの訓練とはちがっていました。お昼休み教室にいますと、地震の放送がなりました。「また訓練か」と思ってた机の下にかくれました。それから、急いで避難道に行くと先生が大きく手を広げてみんなを止めていました。

説明を聞いていると、「今日はここはくずれています。もしここがくずれていたら、どこに逃げますか」と言いました。みんな話合いました。一年生が手を挙げて、「誠心園です」と答えました。みんなで誠心園に向かっていると、また先生が止めて、「赤い津波が来るけんにつけてよ」と言いました。五秒くらいすると、渡辺先生の車が来ました。津波は五十キロで、車も五十キロでした。まあ大丈夫だろうと思ってる走っていると、すぐ車にぬかれてしまいました。それから、誠心園に着くと、みんな、ハアハアと言っていました。

命を守るためには、朝マラソンでもっと体力をつけて津波に負けないように頑張りたいです。



(南郷小学校 5年 東 来夢)

読書ボランティアさんの読み聞かせ

田ノ口小学校には、毎週火・水・木曜日に地域の方が本の読み聞かせに来てくれています。始まったのは六年前、ちょうどぼくたちが一年生のときでした。いろいろな本を読んでもらえるので、いつも楽しみにしていました。朝は眠たいのに、六年間も続けるということはすごいことだと思います。

この間、最後の読み聞かせがありました。読書ボランティアの春子ばあちゃんが、田ノ口小学校出身の作家「上林暁」さんの『薔薇盗人』というお話を読んできました。このお話は、春子ばあちゃんが毎年、卒業生に読み聞かせをしてきているお話です。『薔薇盗人』を読んでもらい、昔はどれだけ暮らすのが大変だったのか、そして、仙一のお父さんの、「どんなに苦しくてもぬすつとする奴にはなつてほしくない。なつてはいけない。」という気持ちに伝わってきました。ぼくは、小説が好きなので、これからもいろいろな小説を読もうと思います。



六年間、本でいろいろなことを伝えてくれて、ありがとうございます。

(田ノ口小学校 6年 濱口 武士)

修学旅行を振り返って

4泊5日の修学旅行。初日は移動日、初めて乗る飛行機にとっても緊張しましたが、機長さんの機内放送やCAさんの気遣いなどに感動しました。また、バスから見える、高知とは全く違う東京の景色や、長野に近づくにつれ段々と見えてくる雪にも驚きました。

スキーはインストラクターの先生が丁寧に教えてくれたおかげで、2日目にはたくさん楽しめました。しかし、雪焼けや筋肉痛で、顔や体がとても痛かったです。

3、4日目に行った東京デイズニードやスカイツリー、ソラマチも目一杯楽しむことができました。

最初は不安しかなかった修学旅行でしたが、とても良い思い出になりました。行かせてくれたお母さんには本当に感謝しています。



(大方高校 2年 松本 舞衣奈)